

# ハローワーク岡崎 就職支援業務報告（平成元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- 「プレ職業相談」により、新規求職者数の増加及びハローワークサービスの周知啓発を図りました。  
また、フロアコンシェルジュ（日常的な声かけ）の更なる強化及び、職業相談窓口での丁寧な聴き取りとプラスワンサービス、求職者担当者制に取り組みました。
- 雇用保険受給者の早期再就職件数については、初回認定日の全員相談及び、給付制限の対象者に対しては、呼出し相談日を記載した個票を手交しての「給付制限中の呼出し職業相談」を実施しました。  
また、再就職手当シュミレーションリーフレットを初回説明会時に配付し、早期再就職に係る意欲喚起を積極的に実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- 職業相談部門の職員・相談員は、各自が行った窓口業務のうち、日々の職業相談件数及び職業紹介件数をハローワークシステムにより事後確認し、月ごとの一覧表（共有フォルダ）に整備することにより、全てを可視化し全体として把握することで、個々のモチベーションをアップさせました。PDCA 管理の一助とするとともに、職務意識の向上に努めました。  
なお、求職者担当者制についても、共有フォルダに各担当の管理表を作成、進捗管理をさせ、これを担当統括等が随時確認し、必要に応じた助言・アドバイスをを行いました。
- 求人充足に関しては、条件緩和した求人票をリフレッシュ求人として求職者の目に留まるよう、庁舎入口付近の壁面（屋内）に貼出したり、事業所画像情報及び求人情報も貼り出すとともに、求職が持ち帰れるように配架も行いました。
- 就活応援トレーニング（模擬面接・応募書類の記載指導）の個別支援も積極的に実施しました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

来所した求職者に対して、「手ぶらでは帰らせない」を合言葉に、フロアコンシェルジュの強化、所内案内放送の見直し等を図り、安定所利用におけるメリットの周知徹底を行い、相談件数、紹介件数の増加に繋げていきます。  
また、求職者担当者制が重要視されることから、求職者選定、アプローチ、支援方法の検証を実施していきます。

求職者担当者制の重要性は、相談員に対し意識づけの再徹底を行い、求職者の選定、アプローチ、支援方法の検証をしながら当該業務の推進を図ってまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

「働き方改革の推進」をはじめとする求人者支援、「障害者、高齢者及び生活保護受給者の雇用促進」並びに「求人充足対策」を一体的に行うため、管内の地方自治体や商工会議所・商工会等と連携し、働き方改革が進んでいる企業、障害者や高齢者の雇用が進んでいる企業等の好事例収集と分析を行うことにより事業の推進と強化を図りました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員 就職件数	正社員求人数	正社員 就職件数
実績	2,982	2,824	1,268	31.5%	42.9%	198	304	236	15,612	1,422
目標	3,071	2,719	1,169	32.7%	43.9%	170	351	258	17,149	1,583
目標達成率	97%	103%	108%	96%	97%	116%	86%	91%	91%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率